

※文字の大きさは Meiryō UI / 12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. C-31

<p>所属名・氏名・修了した研修名 大分県別府市立亀川小学校 佐藤 裕一 (校長中央研修)</p>	<p>応募部門名 地域とともにある学校実践部門</p>
<p>活動名: チーム亀川でのりきろう！ 夢をもたせ学ぶ意欲を高める取組</p>	
<p>解決すべき課題:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力～年度初の教職員意識調査でほとんどの教職員が喫緊の課題は学力と答える(資料1) ・全国学力調査の平均正答率が母体平均に比べ-7.7。(資料2) 	
<p>目標・方針:</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">学校・保護者・地域が協働し子どもたちに夢・目標を持たせることで学ぶ意欲がわき学力が向上するだろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学校の教育目標(夢をもち学び続ける子の育成)を策定する。(新しく策定) (2) 教職員・保護者・地域とゴール(学校の教育目標・重点目標)を共有しベクトルを合わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員へ週2回の職員室通信、月ごとの教職員意識調査の実施(資料4) ・保護者へは学校だより(資料6)・地域には全戸配布の啓発チラシを活用し共有を目指す(資料5④) (3) 子どもたちに夢・目標をもたせ、学び続けるための「学び方」を学ばせる。 (4) 学校の教育目標達成のために地域人材を集中的に活用する。(資料5③) <ul style="list-style-type: none"> ・教育目標「夢を持ち学び続ける子の育成」に合致し、夢をキーワードに事業を展開している地域の方の講話を行う(資料5①) ・地域の方が勉強に頑張っている子どもたちを褒める場を設定(資料5②) 	
<p>活動の成果:</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもたちの学力が全学年大幅に向上した。(資料2①、資料2②) 対外テスト 全国学テ・県学テにおける学校平均と全国平均の差 過去3年 -3.6→+2.9→+5.9 (2) 子どもたちの欠席日数が少なくなった。不登校は0となった。過去3年 3名→2名→0名 (3) 地域の方が勉強に頑張っている子どもたちを褒める場を設定したことによって意欲の向上がみられた。 (4) 地域の方がかわることで子どもに夢をもたせることができた。(夢を持ち学び続ける子の育成) (地域人材の活用・・・夢を語れる場を世界195ヶ国につくる夢をもっている「西岡津世志」氏の講演) 講演を聞いた子どもの感想 西岡さんは「勉強は夢を叶えるためにある」といってました。そして、夢を叶えるためにいくら失敗してもいいことをしました。あきらめずに頑張りたいです。(6年女子) 夢はひとつだとおもってたけど、夢はたくさんあっていいということを知りました。一つ一つの夢は広がっていきます。夢を叶えるためがんばって勉強したいです。(5年男子) 	
<p>アピールポイント(アイデアや工夫):</p> <p>アピールポイントは、教職員・子ども・保護者・地域がゴールを共有し、ベクトルを合わせたことにより、課題が解決したこと。資料2のように本校の全クラスの学力が大きく向上したこと。そして、学力向上が図られただけでなく、付帯効果として子どもたちが行事の取組や生活態度などのあらゆることに関しての意欲が高まり、不登校が0になったうえ、欠席日数が極端に少なくなったことある。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学校の教育目標の策定の工夫・・・赴任と同時に教育目標を見直し変更した (2) ベクトルを合わせるための工夫・・・すべては子どもたちのために！すべての子どもたちのために！チーム亀川 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども、教職員、保護者、地域の方へ目標を共有させる工夫 (3) 地域人材活用の工夫・・・教育目標実現に向けての地域学校協働活動の推進と教育課程での活用 <ul style="list-style-type: none"> ・夢を語る場を提供している西岡さんの定期的な講演 ・教育課程における地域人材の活用 ・地域の方が勉強に頑張っている子どもたちを褒める場の設定 	

資料1 喫緊の課題(学力の低さ) **資料2 対外検査における取組の成果**

学校の課題の洗い出し 教職員意識調査 平成30年4月

①対外検査における年度ごとの推移 ②達成指標として設定した1月別府市学力調査からの成果

		H29	H30	H31		
3年生	本校				国語	73.7
	全国				算数	76
	大分県学テ	+0.6	+3.5	+7.9	理科	69.1
4年生	本校				全国との差(平均)	+ 2.6
	全国					
5年生	本校					
	全国					
6年生	本校					
	全国					
県全国平均		-3.6	+2.9	+5.9		

母体平均と本校の差の推移

正答率の本校と母体平均の差

資料3 子どもたちへの共有

集会で教育目標の校長講話

学校の教育目標を子どもに浸透させる

- ・式辞で学校の教育目標や学校の重点に関する内容を話す。
- ・各集会で必ず学校の教育目標や学校の重点にかかわる内容を話す

学校の教育目標 子どもたちは 夢をもち学び続ける子 目標をもって頑張っている子

資料5 地域への共有

①夢をもたせる講話

②地域の方が子どもたちを褒める場の設定

重点目標1 学びの姿勢の育成

達成指標 1月実施学力調査 +5以上

令和元年度

- ・大分県学力状況調査 正答率県平均+7.9
- ・全国学力状況調査 正答率全国平均+3.8

母体平均 +5.9

資料4 教職員への共有

教職員の意識変化

学校教育目標・重点目標を理解していますか。

月	理解していない	やや理解している	理解している	よく理解している
4月	0%	34%	55%	12%
5月	0%	0%	82%	18%
6月	0%	0%	71%	29%
7月	0%	0%	47%	53%

学びの姿勢を育てる。子どもたちの心に火をつけるような学習への動機づけの話を週に一度以上、帰りの会を利用して行う。

※宿題をする意味、勉強をする意味、目標や夢、学習法など

資料6 保護者への共有

本校の教育目標に合致する「夢を語れ！」創業者西岡津世志氏の児童への講話

【総本店】Yume Wo Katare Beppu / 夢を語れ別府

③教育課程における地域人材の積極的活用

④全戸配布の教育目標に関する啓発チラシ

資料7 チーム亀川のポロシャツ着用

「夢・目標」をもつ

学校の教育目標のキーワード「夢・目標」を、別府市内のある中学校で中3の担任をしてきた。 (もう、15年近く前ですが...) しっかりと夢を語ってほしいなと、思っています。

「夢・目標」を高く掲げよう

「夢・目標」を高く掲げよう。そのためには、APのために県内有数の学校を選び、そこには自分たちが目指している目標や、人へのイメージが大事です。ライザップの宣伝では、自分たちが目指している目標や、人へのイメージが大事です。自分たちが目指している目標や、人へのイメージが大事です。